

第 15 回測定：令和 6 年 3 月 1 日～3 月 11 日

2011年3月11日の東日本大震災に伴って起きた東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の飛散の影響を把握するため、本市ではNaI シンチレーションサーベイメーターが整備された平成23年10月以降、73地点において空間放射線量測定を実施したほか、4 定点で継続的な測定を実施している。

事故から13年が経過した市内の状況を把握するため、環境測定計画にもとづき第15回目となる市内代表地点35 地点・36箇所空間放射線量測定を実施しました。

平成23年10月から測定を実施している30地点においては、初回の測定値と今回の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており（減少23地点、変化なし6地点、わずかな増加1地点）、また平成24年3月の測定から追加した5地点においても同様に大きな変化は見られませんでした（減少1地点、変化なし3地点）。

以上のことから、代表35地点全てにおいて、健康に影響のない放射線量であることを確認しました。

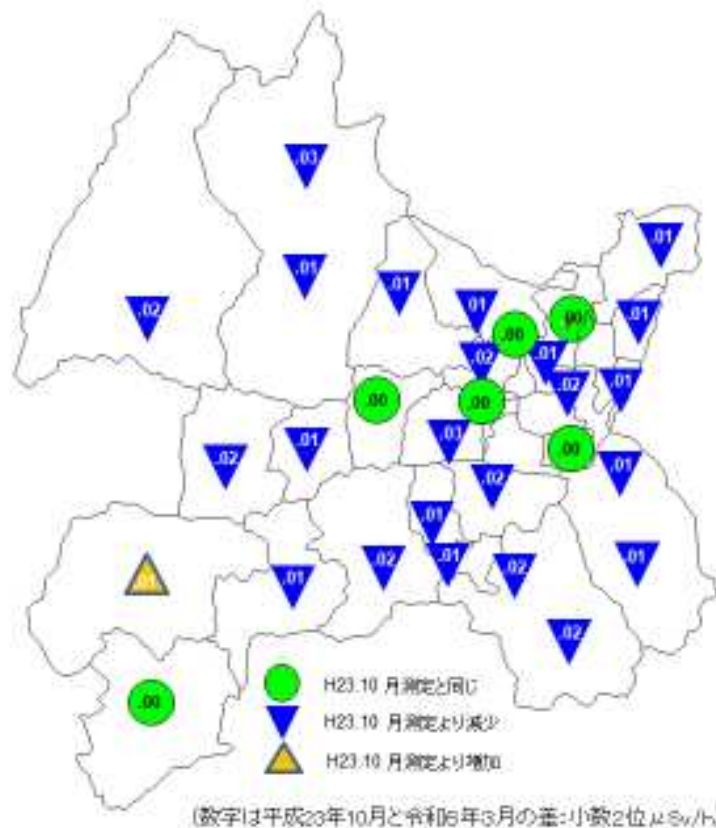
* 単位：マイクロシーベルト/時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

	1 m*	50cm*	5 cm*
平均値	0.06	0.07	0.07
最小値～最大値	0.04～0.08	0.04～0.08	0.04～0.09

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計に含まない。

平成 23 年 10 月に地上 5cm で 0.36 マイクロシーベルト/時が観測された青少年錬成センター雨どい下の測定結果は、0.06、0.06、0.08 マイクロシーベルト/時（地上 1m、50cm、5cm）と通常の値でした。

第 1 回（平成 23 年 10 月）測定と第 15 回（令和 6 年 3 月）測定の測定値の比較（30 地点）



第14回測定：令和5年3月1日～3月13日

2011年3月11日の東日本大震災に伴って起きた東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の飛散の影響を把握するため、本市ではNaIシンチレーションサーベイメーターが整備された平成23年10月以降、73地点において空間放射線量測定を実施したほか、4定点で継続的な測定を実施している。

事故から12年が経過した市内の状況を把握するため、環境測定計画にもとづき第14回目となる市内代表地点35地点・36箇所での空間放射線量測定を実施しました。

平成23年10月から測定を実施している30地点においては、初回の測定値と今回の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており（減少25地点、変化なし4地点、増加1地点）、また平成24年3月の測定から追加した5地点においても同様に大きな変化は見られませんでした（減少1地点、変化なし3地点、増加1地点）。

以上のことから、代表35地点全てにおいて、健康に影響のない放射線量であることを確認しました。

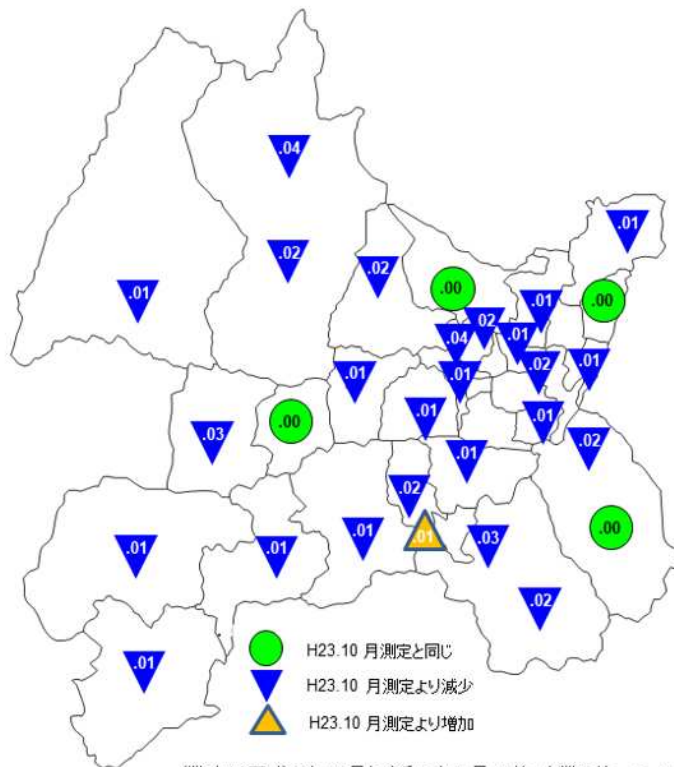
* 単位：マイクロシーベルト/時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

	1 m*	50cm*	5 cm*
平均値	0.06	0.06	0.07
最小値～最大値	0.03～0.08	0.03～0.08	0.04～0.09

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計に含まない。

平成23年10月に地上5cmで0.36マイクロシーベルト/時が観測された青少年錬成センター雨どい下の測定結果は、0.07、0.07、0.08マイクロシーベルト/時（地上1m、50cm、5cm）と通常の値でした。

第1回（平成23年10月）測定と第14回（令和5年3月）測定の測定値の比較（30地点）



第13回測定：令和4年3月1日～3月8日

2011年3月11日の東日本大震災に伴って起きた東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の飛散の影響を把握するため、本市ではNaI シンチレーションサーベイメーターが整備された平成23年10月以降、73地点において空間放射線量測定を実施したほか、4地点で継続的な測定を実施している。

事故から11年が経過した市内の状況を把握するため、環境測定計画にもとづき第13回目となる市内代表地点35地点・36箇所での空間放射線量測定を実施しました。

平成23年10月から測定を実施している30地点においては、初回の測定値と今回の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており（減少27地点、変化なし3地点）、また平成24年3月の測定から追加した5地点においても同様に大きな変化は見られませんでした（減少3地点、変化なし1地点、上昇1地点）。

以上のことから、代表35地点全てにおいて、健康に影響のない放射線量であることを確認しました。

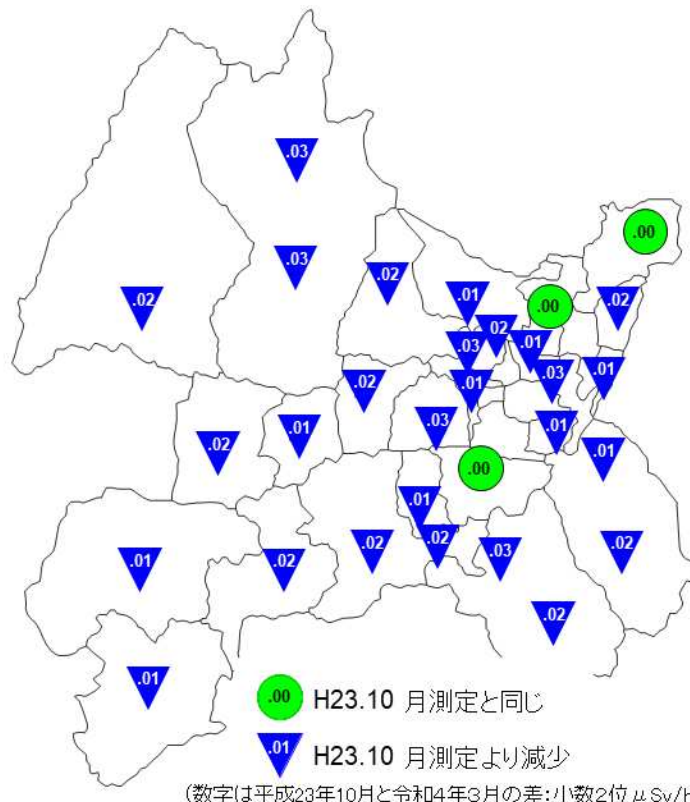
* 単位：マイクロシーベルト/時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

	1 m*	50cm*	5 cm*
平均値	0.06	0.06	0.06
最小値～最大値	0.04～0.08	0.04～0.08	0.04～0.08

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計に含まない。

平成23年10月に地上5cmで0.36マイクロシーベルト/時が観測された青少年錬成センター雨どい下の測定結果は、0.07、0.08、0.09マイクロシーベルト/時（地上1m、50cm、5cm）と通常の値でした。

第1回（平成23年10月）測定と第13回（令和4年3月）測定の測定値の比較（30地点）



第 12 回測定：令和 3 年 3 月 1 日～ 3 月 8 日

2011年3月11日の東日本大震災に伴って起きた東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の飛散の影響を把握するため、本市ではNaI シンチレーションサーベイメーターが整備された平成23年10月以降、73地点において空間放射線量測定を実施したほか、4 定点で継続的な測定を実施している。

事故から10年が経過するところ、市内の状況を把握するため、環境測定計画にもとづき第12回目となる市内代表地点35地点・36箇所の空間放射線量測定を実施しました。

平成23年10月から測定を実施している30地点においては、初回の測定値と今回の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており（減少28地点、変化なし2地点）、また平成24年3月の測定から追加した5地点においても同様に大きな変化は見られませんでした（減少2地点、変化なし0地点、上昇3地点）。

以上のことから、代表35地点全てにおいて、健康に影響のない放射線量であることを確認しました。

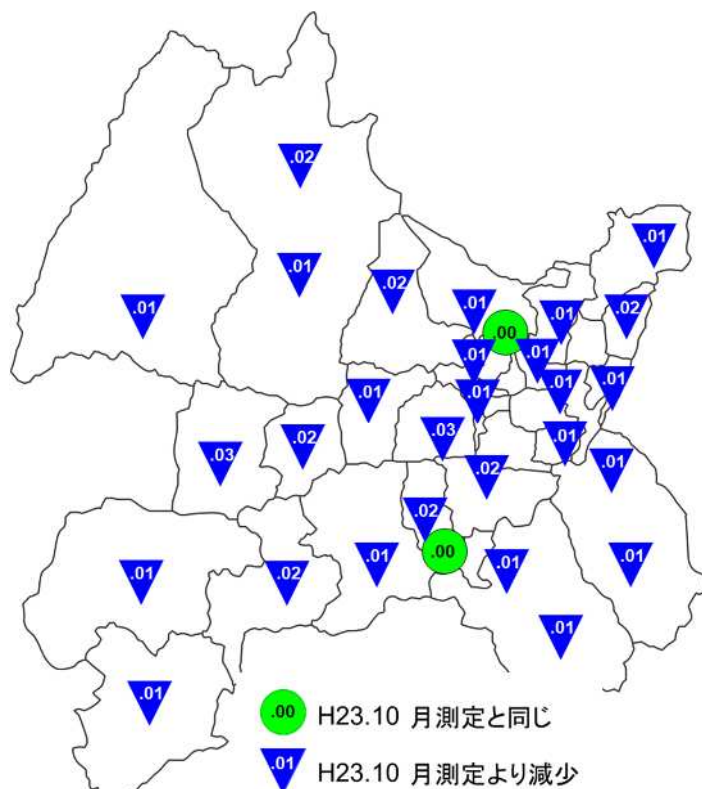
* 単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

	1 m*	50cm*	5 cm*
平均値	0.06	0.07	0.07
最小値～最大値	0.04～0.09	0.05～0.09	0.05～0.09

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計に含まない。

平成 23 年 10 月に地上 5cm で 0.36 マイクロシーベルト／時が観測された青少年錬成センター雨どい下の測定結果は、0.07、0.08、0.10 マイクロシーベルト／時（地上 1m、50cm、5cm）と通常の値でした。

第 1 回（平成 23 年 10 月）測定と第 12 回（令和 3 年 3 月）測定の測定値の比較（30 地点）



（数字は平成23年10月と令和3年3月の差：小数2位 $\mu\text{Sv/h}$ ）

第 11 回測定：令和 2 年 3 月 2 日～ 3 月 9 日

東日本大震災から 9 年が経過した市内の状況を把握するため、代表 35 地点で測定を実施しました。

代表 35 地点全てで、健康に影響のない放射線量が確認されました。

また、平成 23 年 10 月から測定を実施している 30 地点では、当初（平成 23 年 10 月）の測定値と今回（令和 2 年 3 月）の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており、（減少 28 地点、変化なし 2 地点）大きな変動はありませんでした。

また、平成 24 年 3 月の測定から追加した 5 地点では、平成 24 年 3 月の測定値と今回（令和 2 年 3 月）の測定値を比較すると、同様の傾向でした。（減少 2 地点、変化なし 1 地点、上昇 2 地点）

	1 m*	50 cm*	5 cm*
平均値	0.06	0.07	0.07
最小値～最大値	0.05～0.09	0.05～0.09	0.05～0.09

* 単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計には含まない。

なお、23 年 10 月に地上 5cm で 0.36 マイクロシーベルト／時が観測された青少年錬成センター雨どい下では、0.07、0.08、0.10 マイクロシーベルト／時（地上 1m、50cm、5cm）と通常の値に減少しました。

第 1 回（平成 23 年 10 月）測定と第 11 回（令和 2 年 3 月）測定の測定値の比較



（数字は平成23年10月と令和2年3月の差：小数2位 $\mu\text{Sv/h}$ ）

第 10 回測定：平成 31 年 3 月 1 日～3 月 11 日

東日本大震災から 8 年が経過した市内の状況を把握するため、代表 35 地点で測定を実施しました。

代表 35 地点全てで健康に影響のない放射線量が確認されました。

また、平成 23 年 10 月から測定を実施している 30 地点では当初（平成 23 年 10 月）の測定値と今回（平成 31 年 3 月）の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており、（減少 27 地点、変化なし 3 地点）大きな変動はありませんでした。

また、平成 24 年 3 月の測定から追加した 5 地点では、平成 24 年 3 月の測定値と今回（平成 31 年 3 月）の測定値を比較しましたが、同様の傾向でした。（減少 4 地点、変化なし 1 地点）

	1 m*	50 cm*	5 cm*
平均値	0.06	0.06	0.07
最小値～最大値	0.05～0.08	0.05～0.09	0.04～0.09

* 単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計には含まない。

なお、平成 23 年 10 月に地上 5cm で 0.36 マイクロシーベルト／時が観測された青少年錬成センター雨どい下では、0.07、0.08、0.11 マイクロシーベルト／時（地上 1m、50cm、5cm）と通常の値に減少しました。

第 1 回（平成 23 年 10 月）測定と第 10 回（平成 31 年 3 月）測定の測定値の比較



（数字は23年10月と31年3月の差：小数2位 $\mu\text{Sv/h}$ ）

第9回測定：平成30年3月1日～3月15日

東日本大震災から7年が経過した市内の状況を把握するため、代表35地点で測定を実施しました。

代表35地点全てで健康に影響のない放射線量が確認されました。

また、平成23年10月から測定を実施している30地点では当初（平成23年10月）の測定値と今回（平成30年3月）の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており、（減少25地点、変化なし5地点）大きな変動はありませんでした。

また、平成24年3月の測定から追加した5地点では、平成24年3月の測定値と今回（平成30年3月）の測定値を比較しましたが、同様の傾向でした。（減少4地点、変化なし1地点）

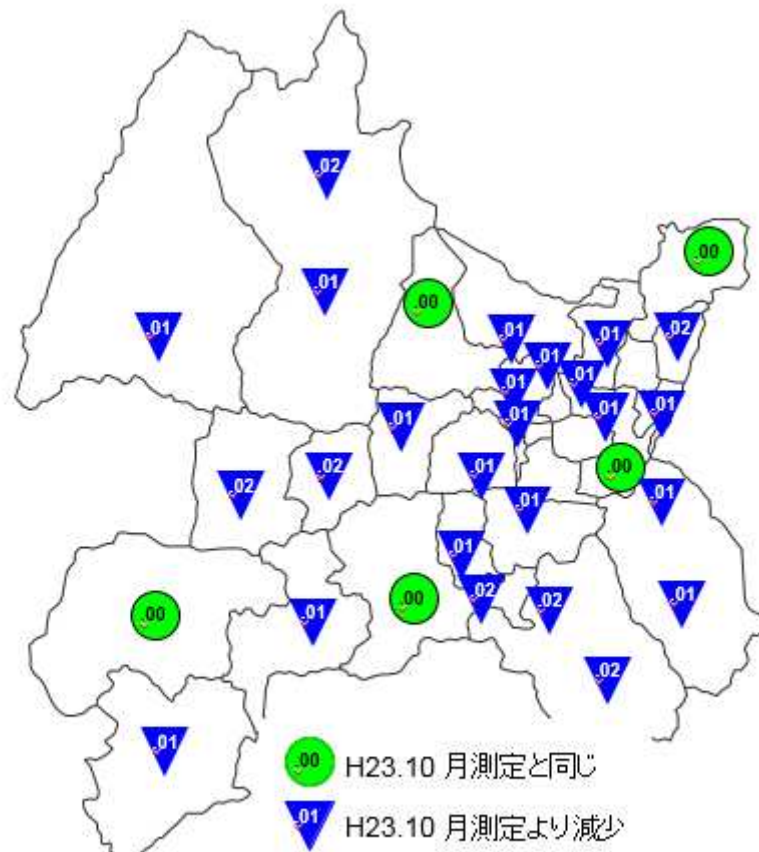
	1m*	50cm*	5cm*
平均値	0.06	0.07	0.07
最小値～最大値	0.04～0.09	0.05～0.09	0.05～0.09

*単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計には含まない。

なお、平成23年10月に地上5cmで0.36マイクロシーベルト／時が観測された青少年錬成センター雨どい下では、0.07、0.07、0.09マイクロシーベルト／時（地上1m、50cm、5cm）と通常の値に減少しました。

第1回（平成23年10月）測定と第9回（平成30年3月）測定の測定値の比較



（数字は23年10月と30年3月の差：小数2位 $\mu\text{Sv/h}$ ）

第 8 回測定：平成 29 年 3 月 1 日～3 月 16 日

東日本大震災から 6 年が経過した市内の状況を把握するため、代表 35 地点で測定を実施しました。

代表 35 地点全てで健康に影響のない放射線量が確認されました。

また、平成 23 年 10 月から測定を実施している 30 地点では当初（平成 23 年 10 月）の測定値と今回（平成 29 年 3 月）の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており、（減少 25 地点、変化なし 5 地点）大きな変動はありませんでした。

また、平成 24 年 3 月の測定から追加した 5 地点では、平成 24 年 3 月の測定値と今回（平成 29 年 3 月）の測定値を比較しましたが、同様の傾向でした。（減少 4 地点、変化なし 1 地点）

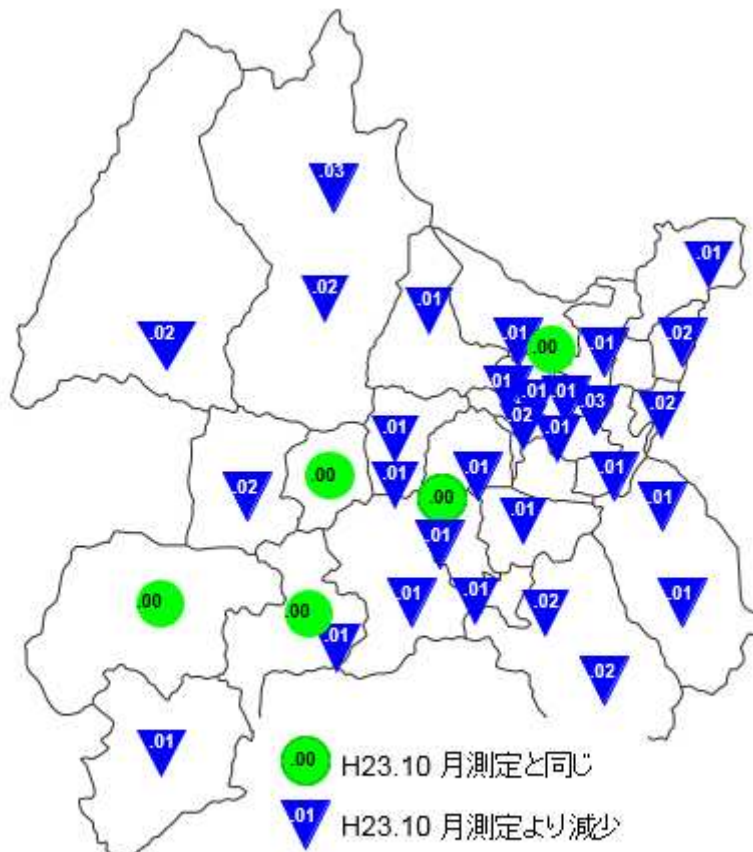
	1 m*	50 cm*	5 cm*
平均値	0.06	0.07	0.07
最小値～最大値	0.04～0.08	0.04～0.09	0.05～0.08

* 単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計には含まない。

なお、平成 23 年 10 月に地上 5cm で 0.36 マイクロシーベルト／時が観測された青少年錬成センター雨どい下では、0.07、0.08、0.11 マイクロシーベルト／時（地上 1m、50cm、5cm）と通常の値に減少しました。

第 1 回（平成 23 年 10 月）測定と第 8 回（平成 29 年 3 月）測定の測定値の比較



（数字は23年10月と29年3月の差：小数2位 $\mu\text{Sv/h}$ ）

第7回測定：平成28年3月1日～3月16日

東日本大震災から5年が経過した市内の状況を把握するため、代表35地点で測定を実施しました。

代表35地点全てで健康に影響のない放射線量が確認されました。

また、平成23年10月から測定を実施している30地点では当初（平成23年10月）の測定値と今回（平成28年3月）の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており、（減少28地点、変化なし2地点）大きな変動はありませんでした。

また、平成24年3月の測定から追加した5地点では、平成24年3月の測定値と今回（平成28年3月）の測定値を比較しましたが、同様の傾向でした。（減少3地点、変化なし2地点）

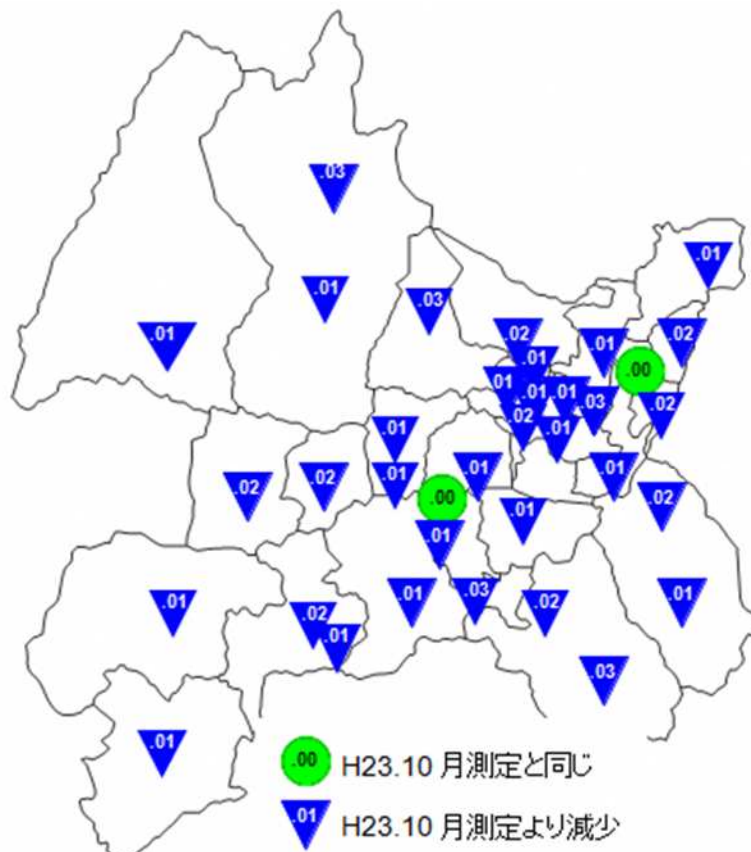
	1 m*	50 cm*	5 cm*
平均値	0.06	0.06	0.06
最小値～最大値	0.04～0.08	0.04～0.08	0.05～0.08

*単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計には含まない。

なお、平成23年10月に地上5cmで0.36マイクロシーベルト／時が観測された青少年錬成センター雨どい下では、0.06マイクロシーベルト／時（地上5cm）と通常の値に減少しました。

第1回（平成23年10月）測定と第7回（平成28年3月）測定の測定値の比較



（数字は23年10月と28年3月の差：小数2位 $\mu\text{Sv/h}$ ）

第6回測定：平成27年3月2日～3月16日

東日本大震災から4年が経過した市内の状況を把握するため、代表35地点で測定を実施しました。

代表35地点全てで健康に影響のない放射線量が確認されました。

また、平成23年10月から測定を実施している30地点では当初（平成23年10月）の測定値と今回（27年3月）の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており、（減少27地点、変化なし3地点）大きな変動はありませんでした。

また、平成24年3月の測定から追加した5地点では、平成24年3月の測定値と今回（平成27年3月）の測定値を比較しましたが、同様の傾向でした。（減少3地点、変化なし2地点）

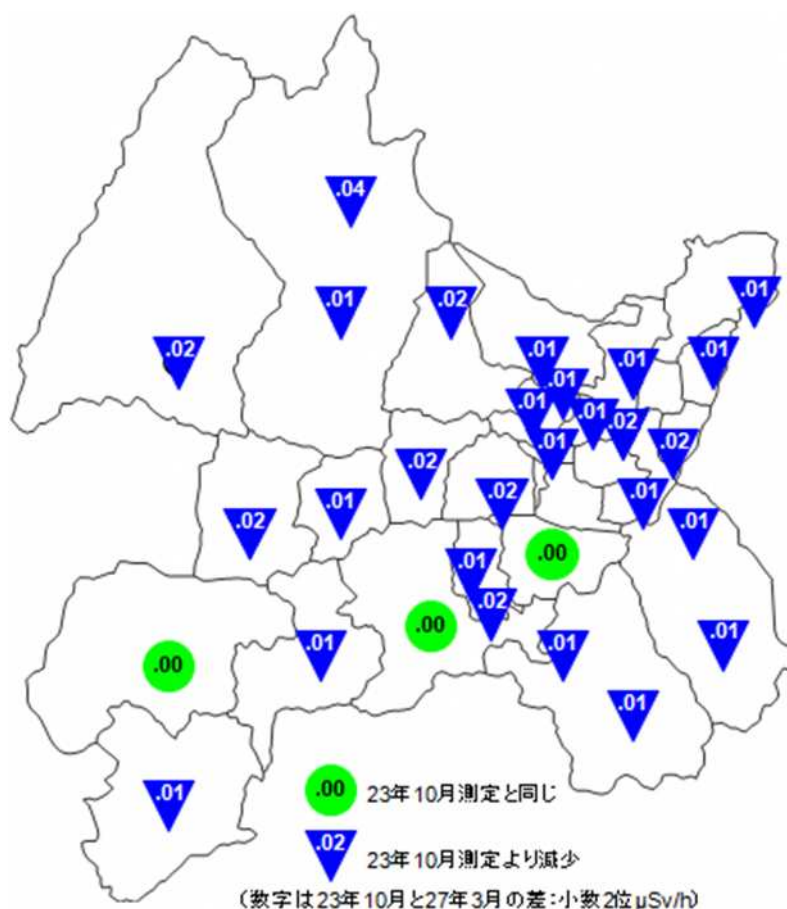
	1 m*	50 cm*	5 cm*
平均値	0.06	0.07	0.07
最小値～最大値	0.03～0.08	0.03～0.08	0.04～0.09

*単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計には含まない。

なお、平成23年10月に地上5cmで0.36マイクロシーベルト／時が観測された青少年錬成センター雨どい下では、0.06マイクロシーベルト／時（地上5cm）と通常の値に減少しました。

第1回（平成23年10月）測定と第6回（平成27年3月）測定の測定値の比較



第5回測定：平成26年3月3日～3月19日

測定した代表35地点全てで健康に影響のない放射線量が確認されました。

また、平成23年10月から測定を実施している30地点では当初（平成23年10月）の測定値と今回（平成26年3月）の測定値を比較すると、ほとんどの地点で同等かわずかに減少しており、（減少24地点、変化なし5地点、上昇1地点）大きな変動はありませんでした。

また、平成24年3月の測定から追加した5地点では、平成24年3月の測定値と今回（平成26年3月）の測定値を比較しましたが、同様の傾向でした。（減少2地点、変化なし3地点）

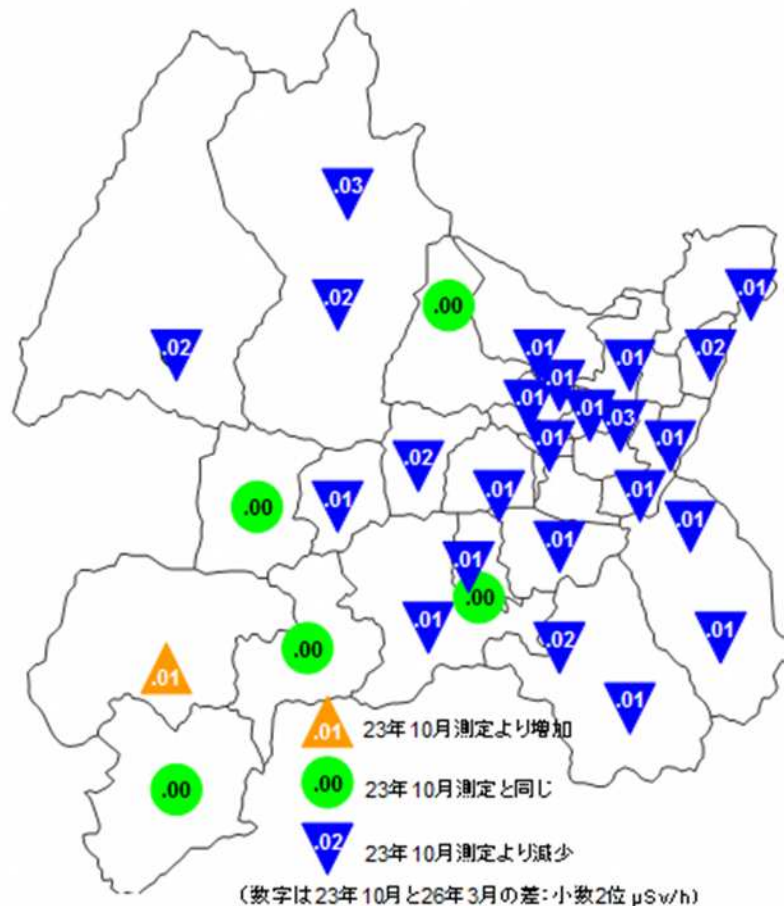
	1 m*	50 cm*	5 cm*
平均値	0.06	0.07	0.07
最小値～最大値	0.04～0.09	0.04～0.10	0.05～0.10

*単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計には含まない。

なお、平成23年10月に地上5cmで0.36マイクロシーベルト／時が観測された青少年錬成センター雨どい下では、0.16マイクロシーベルト／時（地上5cm）に減少しました。また、同地点の地上1mでは0.08マイクロシーベルト／時と通常の値でした。

第1回（平成23年10月）測定と第5回（平成26年3月）測定の測定値の比較



第4回測定：平成25年4月23日～5月8日

測定した代表地点35地点全てで健康に影響のない放射線量が確認されました。

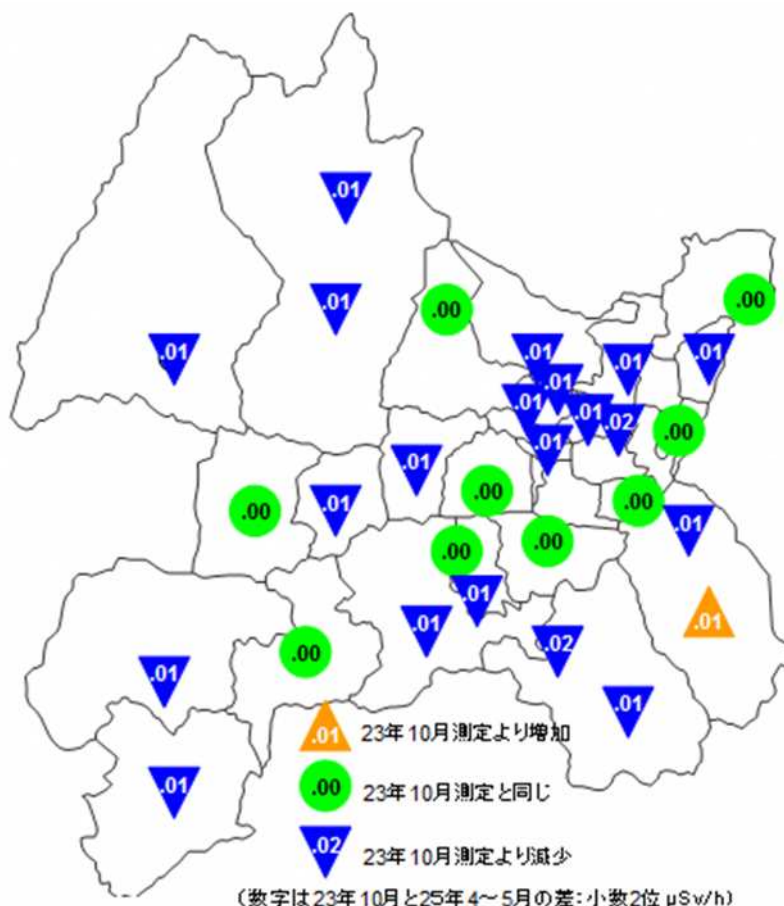
また、平成23年10月から測定を実施している30地点では当初（平成23年10月）の測定値と今回（平成25年4～5月）の測定値を比較すると、ほとんどの地点で同等かわずかに減少しており、（減少20地点、変化なし9地点、上昇1地点）大きな変動はありませんでした。

また、平成24年3月の測定から追加した5地点では、平成24年3月の測定値と今回（平成25年4～5月）の測定値を比較しましたが、同様の傾向でした。（減少2地点、変化なし2地点、上昇1地点）

	1 m*	50 cm*	5 cm*
平均値	0.07	0.07	0.07
最小値～最大値	0.05～0.09	0.05～0.10	0.05～0.10

*単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

第1回（平成23年10月）測定と第4回（平成25年4～5月）測定の測定値の比較



第3回測定：平成24年10月1日～10月4日

測定した代表地点35地点全てで健康に影響のない放射線量が確認されました。

また、平成23年10月に測定を実施している30地点では、当初（平成23年10月）の測定値と、追加5地点では平成24年3月の測定値と今回（平成24年10月）の測定値を比較すると、全ての地点で同等かわずかに減少しており、大きな変動はありませんでした。

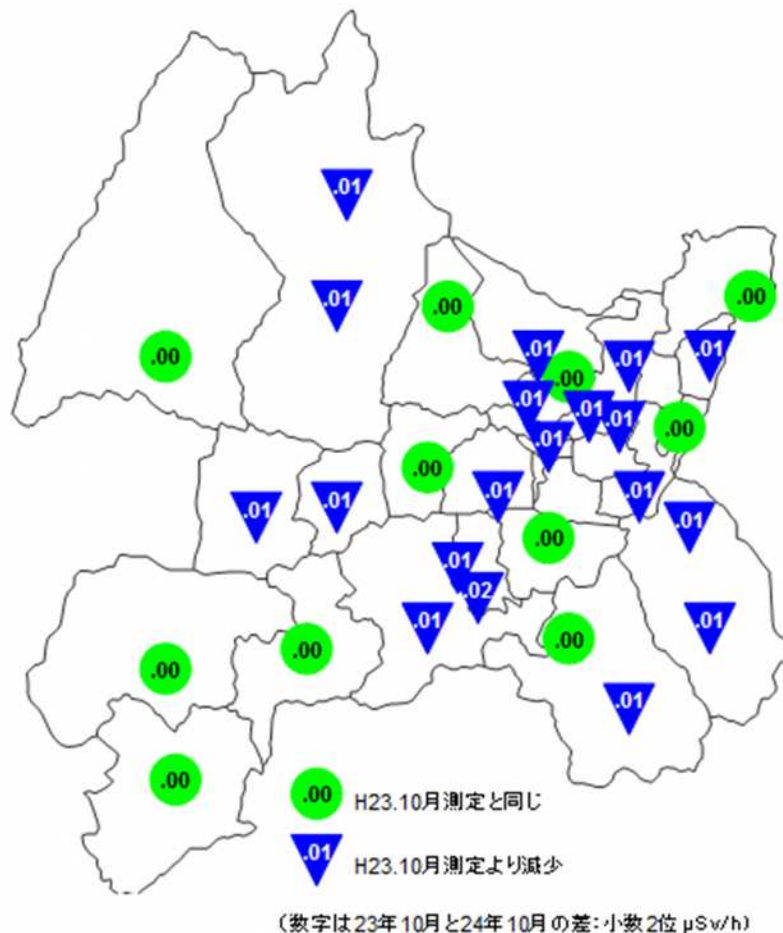
	1 m*	50 cm*	5 cm*
平均値	0.07	0.07	0.07
最小値～最大値	0.05～0.10	0.05～0.10	0.05～0.10

*単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

** 青少年錬成センター雨どい下の測定は、本表の集計には含まない。

なお、平成23年10月に地上5cmで0.36マイクロシーベルト／時が観測された青少年錬成センター雨どい下では、0.23 μ シーベルト／時（地上5cm）に減少しました。また、同地点の地上1mでは0.08マイクロシーベルトと通常の値でした。

第1回（平成23年10月）測定と第3回（平成24年10月）測定の測定値の比較



第2回測定：平成24年3月13日～3月16日

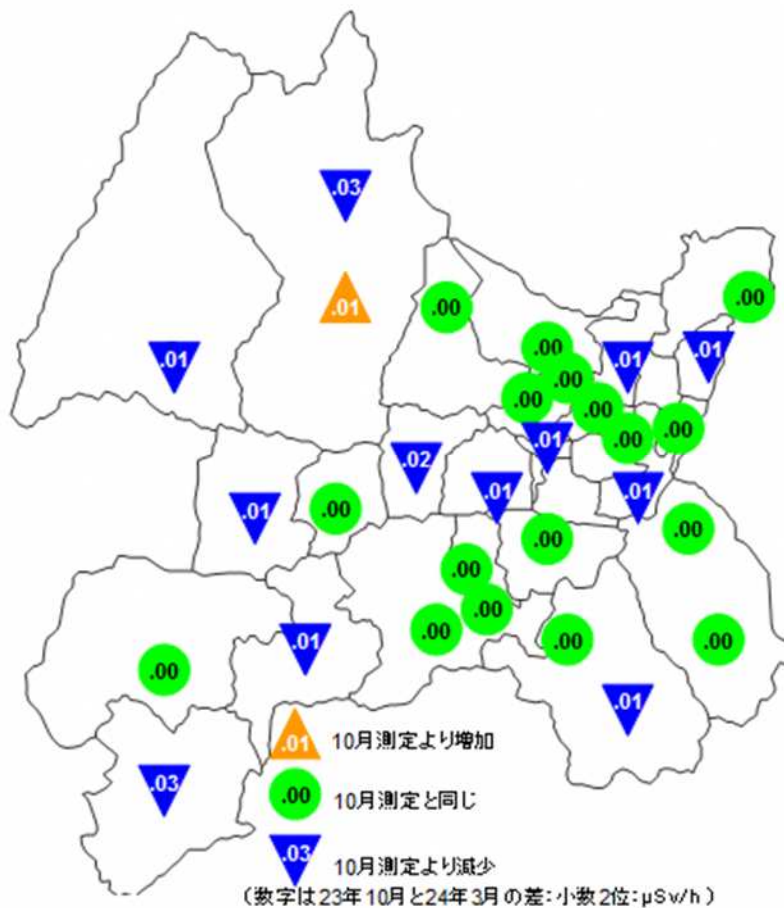
測定した35地点全てで健康に影響のない放射線量が確認されました。

また、平成23年10月に測定を実施している30地点では、当初（平成23年10月）の測定値と今回（平成24年3月）の測定値を比較すると、ほとんどの地点で同等かわずかに減少しており、大きな変動はありませんでした。

	1 m*	50 cm*	5 cm*
平均値	0.07	0.07	0.07
最小値～最大値	0.04～0.10	0.04～0.10	0.05～0.10

*単位：マイクロシーベルト／時（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

第1回（平成23年10月）測定と第2回（平成24年3月）測定の測定値の比較



【参考】

●県内 77 市町村の地上 1 m の空間放射線量

0.04 ~ 0.14 μ Sv/h (H23.7、H23.11 県測定)

●市内 73 地点延べ 529 箇所の地上 1 m の空間放射線量

0.03 ~ 0.12 μ Sv/h (H23.10~H31.3 市測定)

●福島県内の学校において児童生徒等が受ける線量と対策の目安

1 μ Sv/h

(平成 23 年 8 月 26 日 文部科学省通知「福島県内の学校の校舎・校庭等の線量低減について」)

* 行動パターン：学校 6.5 時間 (屋内 4.5 時間、屋外 2 時間) 年間 200 日通学

* 中学校は地上 1 m、小学校、特別支援学校は 50 cm で評価

●周辺に比べて局所的に放射線量が高く、除染等の対応が必要となる箇所の目安 (長野県)

地表の空間放射線量が 1 μ Sv/h 以上

(平成 23 年 10 月 28 日 長野県環境部「周辺より放射線量が高い箇所への対応方針」)

●放射性物質汚染対処特措法に基づく、汚染状態が要件に適合しないと見込まれる地域

0.23 μ Sv/h (1 m) (要件：平成 23 年 12 月 14 日 環境省令、地域指定：平成 23 年 12 月 28 日 環境大臣公告)